

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 27 日現在

機関番号：32606

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2010～2013

課題番号：22242005

研究課題名(和文)大画面説話画の総合研究

研究課題名(英文)Comprehensive Research of Large-Scale Narrative Painting

研究代表者

佐野 みどり(SANO, Midori)

学習院大学・文学部・教授

研究者番号：60178811

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 17,100,000円、(間接経費) 5,130,000円

研究成果の概要(和文)：国内外の作品調査と研究会を活動の基本とした。研究会や研究集会、海外シンポジウムでは、美術史・思想史・歴史学・文学などジャンルや国内外を横断した学術交流を行い、また大学院生等若手研究者の育成にも力を注いだ。これらの研究活動を通じて得られた成果はメンバー各自の研究論文として逐次諸媒体で公刊し、特に最終年度では、論集『中世絵画のマトリックス』(青簡舎)を編纂し刊行した。また、「赤間神宮宝物展」など、科研の成果を、美術館の展覧会協力という形でも広く公開した。

研究成果の概要(英文)：Special viewing sessions of art objects and scholarly workshops held in Japan and abroad formed the basis of our activities. At these workshops, seminars, and symposiums held overseas, international scholarly exchange took place in the form of traversing the disciplinary boundaries of art history, intellectual history, history and literature. These exchanges served as invaluable tools that aided in the development of young scholars and graduate students as well. These activities have also allowed each member to advance his or her own research culminating in the publication of many of their papers, and in this past year, the edited volume "The Matrix of Medieval Painting2"(Seikansha) was published. Additionally, the results of our research were made available to the public with the cooperation of the Shimonoseki City Museum and through the mounting of the exhibition, "Treasures from the Akama Shrine."

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学 美学・美術史

キーワード：掛幅縁起絵 仏教説話画 祖師伝 在地性 中世の信仰 物語る構造 景観表象の機能 垂迹画

1. 研究開始当初の背景

日本美術史・絵画史研究全体のなかでも、その作品の質・量に比して研究が大きく立ち遅れているのが、大画面説話画のジャンルである。このことは、専門を近くする研究者の間ではすでに共通認識となっており、本申請の研究代表者(佐野みどり)による基盤研究(B)「中世寺社縁起絵の総合的研究」や、研究分担者(加須屋誠)を代表とする基盤研究(B)「掛幅説話画大成のための基礎的研究」、同(原口志津子)を代表とする基盤研究(C)「北陸における説話画の研究」は、そうした問題意識に基づくものであった。前者は掛幅縁起絵を中心に、後者二つは仏教説話画を主な対象として、相互に独立して大画面説話画の調査・研究を進めてきたが、それぞれの活動成果の蓄積を統合して議論を深化させる機が熟し、共同してこのジャンルの作品研究に取り組むこととなった。

仏教説話画の分析、理解に、仏教思想史・仏教図像学の知識が不可欠であることは言うまでもない。掛幅縁起絵の場合は、いくつかの作品において、文学研究や絵画史料論、思想史、絵解き研究、真宗教団史などそれぞれの領域での議論がなされているものの、それらの論議や成果が広く共有されるに至っていない。各学問領域での方法論、自明とされている知識等を相互に理解・共有し、それぞれの領域内に留まりがちであった議論や資料を互いに読解、活用し、研究水準を横断的に確認、底上げする必要がある。散発的、限定的な作品研究を集成し、更なる考察の深化と拡大へとむかうためには、現存諸作例の全体的把握といった基礎研究を完成させ、データ活用の利便性をあげ、かつ共同討議の場(ワークショップや共同調査)を設けることが必須である。

2. 研究の目的

本研究の目的は、日本絵画史のなかでも重要な位置を占めながら、相応の研究が未だ手薄である中世の大画面説話画に焦点を当て、作品総体の全貌を把握するための基礎調査(所在・現状確認)、および美術史・中世史・宗教史・文学・文化史等諸領域の協働、知識の共有といった研究基盤の整備をおこない、個別的・基礎的作品研究の蓄積を通して、大画面説話画の生成と展開、享受の様態を明らかにすると共に、絹本掛幅の仏画・垂迹画、あるいは寺社縁起絵巻等、同時代絵画との比較検討を踏まえながら、中世絵画の様式史再構築という美術史上の命題に応え、かつ <物語の構造>と<景観表象の機能>を支える中世の社会と中世人の心性を分析理解することであり、掛幅縁起や仏教説話画といった絵解きされる絵画の想像力の考察を、美術史学にのみ閉ざさず、より高度で発展的な研究に結実させてゆくことを目指す

ものである。

3. 研究の方法

本課題の研究計画は、大きく以下の五段階をもって構成する。

作品調査と獲得したデータの検討

a. 国内外での悉皆的調査によるデータ集積、

b. トレース図の作成と細部の検討

作品のモノグラフ研究の報告と蓄積

a. 国内研究集会、b. 海外ワークショップ、アウトプットとしての展覧会協力

図録・研究論集の刊行

シンポジウムの開催

方法上の特色として、悉皆的調査、トレース図・文献史料翻刻・校訂等周辺資料活用による資源生成、国内外研究集会や展覧会、図録等、公開・公刊を視野にいたした研究の還流が挙げられる。

4. 研究成果

作品調査と研究会を活動の基本とし、作品調査で得られた画像については、慎重な取扱を原則に、研究者間での共有をはかった。研究分担者・連携研究者を中心に年数回の研究会を行い、その他、やや規模を大きくした研究集会も年一回開催するなど、美術史・思想史・歴史学・文学など様々な角度から、大画面説話画についての検討を行った。なお、同主題の小画面作品をも視野に入れ、共同研究を行った。これらの研究会に加え、海外シンポジウムも開催するなど、ジャンルや国内外を横断した学术交流の場をつくることを心掛けると同時に、作品調査や研究会等で、大学院生等が参加して最新の研究動向に触れる機会を設けるなど、若手研究者の育成にも力を注いだ。これらの研究活動を通じて得られた成果は、メンバー各自の研究論文として逐次諸媒体で公刊し、特に最終年度では、論集『中世絵画のマトリックス』(青簡舎)を編纂し刊行した。また、「赤間神宮宝物展」など、科研の成果を、美術館の展覧会協力という形で広く公開した。

作品調査と獲得したデータの検討

a-1. 国内での調査データの集積

熊野権現影向図(檀王法林寺) 万福寺本然上人絵伝(山梨県立博物館) 杭全神社本聖徳太子絵伝(杭全神社) 玉垂宮縁起絵(京都国立博物館) 安徳天皇縁起絵(赤間神宮) 融通念仏縁起絵(安楽寺) 仏涅槃図(興善寺) 地獄極楽図屏風(金戒光明寺) 仏涅槃図(周防国分寺) 尊純法親王筆・源氏絵詞(毛利博物館) 源氏物語図屏風(奈良大学博物館) 源氏物語絵巻(斎宮歴史博物館) 源氏絵屏風・源平合戦図屏風ほか(耕三寺博物館) 平家物語図屏風(岡田美術館) 不動利益縁起絵巻(東京国立博物館) など

a-2. 国外での調査データの集積

イーストアングリア大学付属セインズベリーアートセンター、ボストン美術館、ストックホルム美術館、ニース・アジア美術館、パーク・コレクション、ウェーバー・コレクション、プリンストン大学美術館、メトロポリタン美術館、シカゴ美術館、ライデン民俗博物館、ベルリン・ナショナルミュージアムなどの所蔵作品

b. トレース図の作成と細部の検討

根津美術館蔵善光寺如来絵伝、赤間神宮安徳天皇縁起絵、瀧上寺九品来迎図、西本願寺本親鸞聖人絵伝など

作品のモノグラフ研究の報告と蓄積

a. 国内研究集会

研究集会

- 1) 2010年6月12日(学習院大学)
- 2) 2011年7月18日(学習院大学)
- 3) 2012年9月16日(学習院大学)

研究会

- 1) 2010年8月29日(メルパルク京都)
- 2) 2010年10月23日(山梨県立博物館)
- 3) 2010年11月6日(町田市立国際版画美術館)
- 4) 2011年10月8日(ステーションホテル小倉)
- 5) 2011年12月(奈良女子大学)
- 6) 2012年10月23日(御伽草子ミニシンポジウム・東京大学史料編纂所)
- 7) 2012年11月23日(京都ガーデンパレスホテル)
- 8) 2013年6月9日後白河院と絵巻研究会(共立女子大学) 共立女子大との共催
- 9) 2013年8月5日法華経絵研究会参加(富山国際会議場) 6日本法寺風入法要見学
- 10) 2013年10月12日(南禅寺会館) 同日、龍谷ミュージアム弘法寺練供養見学
- 11) 2014年2月19日(東京国立博物館) 研究会「クリーブランド美術館蔵融通念仏縁起絵巻のパーспекティブ 東博本不動利益縁起絵巻との対比から」土屋科研、阿部科研との共催

b. 海外ワークショップ

2012年3月12日(アメリカ・メトロポリタン美術館) "Storytelling in Japanese Art"
2012年3月14日(アメリカ・シカゴ美術館)

アウトプットとしての展覧会協力

「赤間神宮宝物展」(2012年4月25日~5月13日 来館者数のべ4423名、下関市立美術館) 前年度から調査を進め、現地で研究会を行い、下関市立美術館での展示協力と『赤間神宮宝物図録』の監修を行った。展示に際してはトレース図や解説図で大画面説話画の読み解きに工夫を凝らした。関連企画として、4月29日にパネリスト4名を迎えた一般公開シンポジウム「平家物語と合戦絵」、翌30日に研究代表者佐野の講演も行った。

図録・研究論集の刊行

『赤間神宮宝物図録』(赤間神宮)
『中世絵画のマトリックス』(青簡舎、2014年)

シンポジウムの開催

- 1) 2010年12月16日~17日(イギリス・セインズベリー芸術研究所) "The Power of things: what Monstrous Objects" Narratives in Visual Culture: Beliefs, Rituals, Story and Art"
- 2) 2011年3月11日~12日(アメリカ・ハーバード大学) "Beliefs, Rituals, Stories and Art in Medieval Japan" (中世の信仰と造形)
- 3) 2012年3月23日(学習院大学)*立教大学小嶋科研との合同シンポジウム
- 4) 2012年4月29日(下関市立美術館) 平家物語と合戦絵シンポジウム
- 5) 2014年3月12日~13日(フランス・大学都市日本館) イメージとテキスト 日本の造形文化における古典の再結晶化を巡って Image and Text Towards a Metamorphosis of the Classics in Japanese Visual Culture

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計25件)

- 1) 佐野みどり 「『源氏物語』の造形 豊穣なる世界」(『聚美』10号 12-35頁、2014年、査読無)
- 2) 佐野みどり 「源氏物語図屏風」(『國華』1412号 23-25頁、2013年、査読有)
- 3) 阿部美香 「富士の行者としての唯念 義賢行者・妙心行者・妙善尼との関わりから」(『昭和女子大学文化史研究』17号 1-14頁、2014年、査読無)
- 4) 阿部美香 「天照大神画像(「一枚摺の世界 その小釈の試み(2)」)」(『学苑』881号 122-123頁、2014年、査読無)
- 5) 阿部美香 「伊豆国伊豆御宮御神号(「一枚摺の世界 その小釈の試み」)」(『学苑』874号 20-21頁、2013年、査読無)
- 6) 高岸輝 「世界の源氏物語絵 いまなぜ光があてられたか」(『アナホリッシュ国文学』4号 4-48頁、2013年、査読無)
- 7) 佐野みどり 「法華経冊子」(『國華』1404号 24-58頁、2012年、査読有)
- 8) 佐野みどり 「尹大納言絵巻断簡」(『國華』1398号 18-24頁、2012年、査読有)
- 9) 加須屋誠 「仏教美術における身体 死の「表象不可能性をめぐって」」(『叙説』40号 286-308頁、2012年、査読有)
- 10) 加須屋誠 「病草子の世界観」(『大阪保険医雑誌』547号 11-17頁、2012年、査読無)
- 11) 阿部美香 「『箱根権現縁起絵巻』に見る箱根修験の文化創造」(『足柄乃文化』40、1-12頁、2013年、査読無)
- 12) 高岸輝 「土佐光信と室町絵巻」(『文化交

流研究』26号11-18頁、2013年、査読無)
 13) 高岸輝「中世後期絵巻の様式展開」(『美術史論叢』29号51-60頁、2013年、査読無)
 14) 高岸輝「十六世紀やまと絵様式の転換」(『文学』13巻5号、144-152頁、2012年、査読有)
 15) 原口志津子「本法寺蔵「法華経曼荼羅」における阿難と羅睺羅の図像—舍利信仰と出家者—」(『富山県立大学紀要』24巻、40-62頁、2013年、査読無)
 16) 藤原重雄「延慶三年実遍書写本『覚禅鈔』管見」(『東京大学史料編纂所付属画像史料解析センター通信』59、369-388頁、2012年、査読無)
 17) 佐野みどり「地獄草紙断簡」(『國華』1396号23-27頁、2012年、査読有)
 18) 高岸輝「天稚彦草紙絵巻」と室町土佐派絵巻の展開」(『説話文学研究』46、99-110頁、2011年査読有)
 19) 原口志津子「富山県内所蔵「京都御所の絵師たち」」(『富山県立大学紀要』22巻39-44頁、2012年、査読無)
 20) 佐野みどり「源平の美術」(『赤間神宮叢書』21、1-46頁、2010年査読無)
 21) 阿部美香「安居院唱導資料『上素帖』について」(『金沢文庫研究』326号1-15頁、2011年、査読有)
 22) 阿部美香「浄土巡歴譚とその絵画化—メトロポリタン美術館本『北野天神縁起』をめぐって—」(『説話文学研究』45号155-165頁、2010年、査読有)
 23) 原口志津子「三十三の法数をめぐって射水市指定史跡「三十三塚」と氷見市指定文化財「上日寺伽藍絵図」」(『富山県立大学紀要』21巻75-90頁、2011年、査読無)
 24) 藤原重雄「絵画に描かれた神々と霊地」(『しまねの古代文化』18、14-31頁、2011年、査読無)
 25) 藤原重雄「荻野仲三郎氏旧蔵の「石清水八幡宮曼荼羅」模写・古写真の紹介」(『東京大学史料編纂所付属画像史料解析センター通信』48、2-9頁、2010年、査読無)

〔学会発表〕(計28件)

1) 佐野みどり「原基と古典知」(イメージとテキスト—日本の造形文化における古典の再結晶化を巡って— / Image and Text Towards a Metamorphosis of the Classics in Japanese Visual Culture、2014年3月12日、13日、フランス・大学都市日本館)
 2) 阿部美香「祝祭としての融通大念仏と能「百万」—御代の徳を言祝ぐ儀礼・絵巻・芸能」(イリノイ大学・国立歴史博物館国際研究集会「東アジアの宗教とパフォーマンス、都市と地域」2013年10月9日、アメリカ・イリノイ大学)
 3) 高岸輝「室町時代の公武関係とコレクション」(Treasure, Ritual and Repositories in the East and the West、2013年11月24日、University of Zurich)

4) 阿部美香「子安地蔵の“約束” 開かれた地蔵堂とその縁起」(六所家総合調査シンポジウム、2013年2月2日、富士市役所)
 5) 阿部美香「中世メディアとしての融通念仏縁起絵巻」(説話文学会50周年記念大会シンポジウム、2012年6月23日、立教大学)
 6) 高岸輝「中世絵巻の様式展開」(美術史学会東支部大会、2012年12月16日、五島美術館)
 7) 高岸輝「The Amewakahiko Narrative Handscroll in the Museum of Asian Art, Berlin and the Tosa School of the Muromachi」(International Symposium Moving Art: East Asian Objects and Their Journeys, University of Zurich)
 8) 原口志津子「「幻の庭—本法寺蔵「法華経曼荼羅」化城喻品・提婆達多品を例として—」(国際日本文化研究センター共同研究シンポジウム：日本庭園の「あの世」と「この世」(代表：白幡洋三郎) 2012年11月10日、国際日本文化研究センター)
 9) 藤原重雄「掛幅本「融通念仏縁起絵」によせて」(説話文学会50周年記念大会シンポジウム(招待講演) 2012年6月23日、立教大学)
 10) 佐野みどり「欧米に所蔵される源氏絵作例をめぐって」(大画面説話画の総合研究・幻の源氏絵研究合同シンポジウム、2012年3月23日学習院大学)
 11) 佐野みどり「源氏物語と絵画」(Storytelling in Japanese Art シンポジウム、2012年3月12日、アメリカ・メトロポリタン美術館)
 12) 佐野みどり「漫画動画中の少女戦士の系譜—胡蝶結騎士到攻殻機動隊」(招待講演)(台湾中央大学講演会、2011年10月21日、台湾・中央大学)
 13) 佐野みどり「中世物語絵画之構造—時間興空間—」(招待講演)(中央研究院歴史語言研究所講演会、2011年10月20日、台湾・中央研究院歴史語言研究所)
 14) 加須屋誠「本土寺観音経絵について」(大画面説話画の総合研究研究集会、2011年11月6日、町田市立国際版画美術館)
 15) 加須屋誠「美術史とはなんだろうか—古代史研究との接点、その応用について—」(奈良女子大学古代学学術センター月例研究会、2011年7月6日、奈良女子大学)
 16) 阿部美香「融通念仏縁起絵巻を読む」(国際研究集会「前近代の日本におけるあらたな法会・儀礼学の構築をめざして—ことば・ほとけ・図像の交響—」2011年5月12日、イギリス・ロンドン大学 SOAS, Brunei Gallery)
 17) 高岸輝「Le Shuhanron emaki dans les rouleaux illustres de l'époque médiévale: entre héritage et renouvellement」(招待講演)(Eloquence du texte Images en dialogue—Le Shuhanron emaki: genres littéraires et représentations dans le Japon médiéval—日本中世における文学ジャ

ンルと視覚表象、2011年11月5日、フランス・パリ市立セルヌスキー美術館)

18) 高岸輝 "From European Art History to Japanese Art History The Modernity of Yukio Yashiro and its Present" (招待講演) (Von Japonismus bis Manga: Kunst im Brennpunkt japanisch-deutscher Kulturbeziehungen (日独友好 150 周年記念シンポジウム・ハイデルベルク) 2011年4月19日、ドイツ・ハイデルベルク大学)

19) 佐野みどり 「風流造り物をめぐって」 (Beliefs, Rituals, Stories and Art in Medieval Japan (中世の信仰と造形)) 2011年3月10日~12日、アメリカ・ハーバード大学)

20) 佐野みどり 「付喪神絵巻と中世本覚思想」 (Harvard Enaki Workshop 2011: Case Studies and Colse Readings, 2011年2月11日、アメリカ・ハーバード大学)

21) 佐野みどり "The Power of things: what Monstrous Objects", Narratives in Visual Culture: Beliefs, Rituals, Story and Art 2010年12月16日、17日、イギリス・セインズベリ 芸術学院

22) 阿部美香 「「関白家修善」帖の世界から」 (イリノイ大学・国立歴史民族博物館・名古屋大学共同国際研究集会「東アジアにおける宗教テキストと表象文化」ミニセッション「中世唱導文献『転法輪鈔』歴博本の世界」) 2010年10月6日、アメリカ・イリノイ大学)

23) 高岸輝 「やまと絵における古典の復興と再生」 (国際シンポジウム「近世やまと絵再考」) 2010年12月28日、国際文化館)

24) 高岸輝 「海外所蔵の室町土佐派絵巻について」 (説話文学会 2010年9月例会、2010年10月2日、学習院女子大学)

25) 原口志津子 「大画面法華経絵と儀礼」 (Beliefs, Rituals, Stories and Art in Medieval Japan (中世の信仰と造形)) 2011年3月10日~12日、アメリカ・ハーバード大学)

26) 原口志津子 「仰ぎ見る<場>からの立山」 (日本学術会議「立山公開シンポジウム・場の力」) 2010年7月26日、富山県・立山博物館逢望館)

27) 藤原重雄 「納入版画に託された願い 鎌倉~室町時代」 (講演会「仏教と版画の意外な関係」) 2010年11月3日、町田市立国際版画美術館)

28) 藤原重雄 「絵画に描かれた神々と霊地」 (第10回神在月古代文化シンポジウム、2010年10月31日、大社文化プレイスうらら館)

〔図書〕(計24件)

1) 佐野みどり、加須屋誠、藤原重雄、原口志津子、佐野みどり・加須屋誠・藤原重雄編 『中世絵画のマトリックス』 (青簡舎、636頁、2014年)

2) 加須屋誠 『仏教美術を学ぶ』 (思文閣出版、341頁、2013年)

3) 加須屋誠 (監修) 『地獄絵を旅する』 (平凡社、95頁、2013年)

4) 加須屋誠、高岸輝、藤原重雄、阿部美香 加須屋誠編 『図像解釈学 権力と他者』 (竹林舎、461頁、2013年)

5) 原口志津子、白幡洋三郎編 『『作庭記』と日本の庭園』 (思文閣出版、353頁、2014年)

6) 高岸輝、藤原重雄、人間文化研究機構国文学研究資料館編 『絵が物語る日本 ニューヨーク スペンサーコレクションを訪ねて』 (三弥井書店、360頁、2014年)

7) 高岸輝、下原美保編 『近世やまと絵再考 日・英・米それぞれの視点から』 (ブリュッケ、366頁、2013年)

8) 藤原重雄、阿部美香 『説話から世界をどう解き明かすのか 説話文学会設立50周年記念シンポジウム[日本・韓国]の記録』 (笠間書院、562頁、2013年)

9) 佐野みどり (監修) 『赤間神宮宝物図録』 (赤間神宮、108頁、2012年)

10) 加須屋誠 『仏画掛軸複製「釈迦金棺出現図」(同解説)』 同朋舎メディアプラン、35頁、2013年)

11) 高岸輝、人間文化研究機構国文学研究資料館編 『アメリカに渡った物語絵 絵巻・屏風・絵本』 (ペリかん舎、258頁、2013年)

12) 高岸輝 『論集・東洋日本美術史と現場 見つめる・守る・伝える』 (竹林舎、525頁、2012年)

13) 藤原重雄、津田徹英編 『佛教美術論集 2 図像学 イメージの成立と伝承(密教・垂迹)』 (竹林舎、400頁、2012年)

14) 藤原重雄、サントリー美術館編 『お伽草紙』 (サントリー美術館、216頁、2012年)

15) 加須屋誠 『生老病死の図像学 仏教説話画を読む』 (筑摩書房、292頁、2012年)

16) 阿部美香、伊藤聡編 『中世神話と神祇・神道世界』 竹林舎、640頁、2011年)

17) 高岸輝、阿部美香、川崎剛志編 『修験道の室町文化』 (岩田書院、250頁、2011年)

18) 佐野みどり (監修) 『源氏絵集成』 (藝華書院、664頁、2011年)

19) 佐野みどり、原口志津子、高岸輝、藤原重雄、阿部美香、佐野みどり・新川哲雄・藤原重雄編 『中世絵画のマトリックス』 (青簡舎、450頁、2010年)

20) 佐野みどり、高岸輝、高橋亨編 『平安文学と隣接諸学 10 王朝文学と物語絵』 542頁、2010年)

21) 中野玄三・川上通夫・加須屋誠編 『方法としての仏教文化史』 勉誠出版、593頁、2010年)

22) 藤原重雄、小野正敏・五味文彦・萩原三雄編 『中世人のたからもの』 高志書院、240頁、2011年)

23) 藤原重雄、島裕編 『古語大鑑』 東京大学出版、936頁、2011年)

24) 藤原重雄、田島公編 『禁裏・公家文庫研究』 思文閣出版、404頁、2011年)

〔産業財産権〕
出願状況（計 0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

佐野みどり (SANO, Midori)
学習院大学文学部哲学科・教授
研究者番号：60178811

(2) 研究分担者

- ・加須屋誠 (KASUYA, Makoto)
奈良女子大学人文科学系・教授
研究者番号：60221876
- ・阿部美香 (ABE, Mika)
昭和女子大学人間文化学部・非常勤講師
研究者番号：10449093
- ・高岸輝 (TAKAGISHI, Akira)
東京大学大学院人文社会系研究科・准教授
研究者番号：80416263
- ・原口志津子 (HARAGUCHI, Shizuko)
富山県立大学工学部・教授
研究者番号：40208666
- ・藤原重雄 (FUJIWARA, Shigeo)
東京大学史料編纂所・助教
研究者番号：40313192

(3) 連携研究者

連携研究者として下記のメンバーが恒常的に研究の遂行に参画した。研究成果の一部として、『中世絵画のマトリックス』に寄稿いただき、また今後『中世絵画のマトリックス』を刊行予定である。

- ・米倉迪夫 (YONEKURA, Michio)
文化財研究所名誉研究員
研究者番号：70099927
- ・阿部泰郎 (ABE, Yasuro)
名古屋大学
研究者番号：60193009
- ・新川哲郎 (SHINKAWA, Tetsuo)
学習院大学名誉教授
研究者番号：90080374
- ・加藤悦子 (KATO, Etsuko)
玉川大学
研究者番号：60266244
- ・泉万里 (Izumi, Mari)
美術史家
研究者番号：60243135
- ・故・渡邊里志 (WATANABE, Satoshi)
東海学園大学
研究者番号：30201180
- ・山本聡美 (YAMAMOTO, Satomi)
共立女子大学
研究者番号：00366999
- ・大原嘉豊 (OOHARA, Yoshitoyo)
京都国立博物館
研究者番号：90324699
- ・谷口耕生 (TANIGUCHI, Kousei)
奈良国立博物館
研究者番号：80343002